

MINDAN



脱北者支援 Report

編集・発行＝脱北者支援民団センター TEL:03-3454-5811(FAX兼) e-mail : sien@mindan.org



支援センターはこの1年、住居や就業の斡旋など脱北者が日本に定着するための支援を続けてきた

支援民団センターが設立1周年迎える

就業や住宅斡旋、日本語教育、健康診断、交流会など多彩な活動展開

北韓を脱出し日本に渡ってきた元在日同胞を中心とする脱北者らが日本で安定した社会生活ができるよう人道的な立場から援助するために民団中央本部が昨年6月3日に設立した「脱北者支援民団センター」が設立1周年を迎えた。

「支援センター」は、すでに日本に戻っている脱北者や今後日本に入国してくるであろう日本人妻を含む元在日同胞を中心とした脱北者を対象とするもので、同じ在日の歴史を刻んだ同胞として彼らの苦境を座視できないとの自然な情愛と純粋な人道的立場から彼らを支援していくことを目的としている。

この間、就業斡旋、住宅斡旋、日本語学校と韓国語のできる医師の斡旋、健康診断などの支援と個別相談を、民団の関連地方本部・支部および団員有志らの協力を得て実施してきた。また、「脱北者交流会」を東京と

大阪でそれぞれ2回ずつ、支援に関わるNGO(市民団体)関係者や医師らも交えて行い、交流を深めた。今後も交流会を継続していくことにしている。

「支援センター」で把握している在日脱北者らの現状は、不安定な在留資格や日本語、就業、住宅や社会への適応問題など多くのハンデを背負い厳しい生活を余儀なくされている。また、北韓に残してきた家族の安全を確保するため日本で自己の存在が表ざたになるのを極度に恐れ、自由な活動を自ら制限せざるを得ない状況にある。

同センターの募金協力呼びかけに、民団の各級組織、平和統一諮問委員、在日韓国商工会議所会員を中心に、各地同胞や日本人有志を含めて、多くの誠金が寄せられている。センターでは、支援活動の継続および強化のため、募金への協力を呼びかけている。



脱北者の健康をはじめ日本への定着状況などを調べる李医師(中央)

戸別訪問で「心のケア」をスタート

支援民団センターと在日同胞3世の医師 李創鎬さん

脱北者支援民団センターは、日本での定着を急ぐ脱北者らに対する健康診断と心のケアを目的とした巡回診断を実施している。この巡回診断は、都内の大学病院に勤務している在日同胞3世の医師、李創鎬さん(37)の協力を得て取り組んでいる。

支援センターが脱北者のケアを実施するのは、公安当局に逮捕されるのではないかと中国での長期間にわたる緊張状態を余儀なくされるなど、PTSD(心的外傷後ストレス障害)に苦しむ脱北者が多いことを重視し、心的負担を和らげようとの思いから。

李さんは02年7月から1年2カ月間、韓国の大学の医学部に留学、脱北者研究チームに参加した経験をもとに、日本での脱北者のケアに当たっている。

対象は、現在日本に住む元在日同胞の脱北者とその配偶者・子孫を含めた30余人。現在の身体的・心的

疾患はもとより北韓在住時の社会的境遇や日本での生活適応状況、日本定着後の生活不安なども聞きながら一人ひとりを巡回している。

23歳の時に在日同胞の配偶者と連れだって北韓に渡ったある日本人の配偶者は、北韓での40数年間を振り返りながら「日本人という理由で子どもが差別されるのが何よりも辛かった」と李医師の面接調査に答えた。

現在は「無国籍」のため、様々な生活上の不便をかこっているという。北韓に残した子息との再会を待ち望んでいると涙ながらに語った。

李医師は「日本が脱北者を人道的に受け入れるようにすれば国際的な評価も高まる。どのように受け入れたらいいのかを、今回の巡回診断で意見を聞きながらまとめたい。今後の難民受け入れの際にもモデルケースになるだろう」と強調している。

“夢にまで見たオムライス”に感激

来日した日本人女性の長男と姪の2人、定着へ支援センターが援助

昨年4月に脱北し、今年4月に北京の日本大使館に保護された日本人女性の30歳の長男と、20歳の姪

(めい)の2人が6月18日、成田空港から日本入りした。2人は支援民団センターの保護下に入り、さっそ

く都内の住居で日本での生活をはじめた。

昨年4月、60年代に在日同胞の父と日本人の母と一緒に北韓に渡り、その後日本人妻の母と北韓で生まれた長男、姪の3人で脱北した。今年4月に北京の日本大使館に保護される前に、母親は2人と別れて行方がわからなくなっている。

成田空港で支援センターのメンバーに出迎えられた2人は、東京・南麻布の民団中央本部を訪れ、幹部らから激励を受けた。着の身着のままで日本に到着した2人は、センターの支援に対して「本当に感謝しています」と謝意を述べた。2人は、センターが準備した住居に入り、言葉や生活習慣など日本定着のために様々な事情を学ぶことになっている。

昨年来、緊張の中で中国での生活を送ってきた2人だが、ひとまず住居に落ち着いて、笑顔も見せるようになった。「もう自由ですよ」と語りかけられても、まだピンとこない様子。日本での初めての食事の時に女性は、メニューを興味深そうに眺めながら、「昔から食べるのを夢に見ていた」オムライスを注文し、



水道や電気の使い方などを教わる2人

おいしそうに食べていた。

長男は、家庭内では両親が日本語で会話していたために日本語が少し分かる。しかし、日本での生活に慣れていないため、電車の切符の買い方からスーパーでの買い物などについてもセンターのメンバーとボランティアがきめ細かく対応している。

脱北者からの手紙・ 恐怖に怯える毎日

〈逃げ出すチャンス失う〉

私たちを乗せた輸送車は、土砂降りの雨の中を中朝国境の街へと向かって行った。40日間の獄中生活のために体が衰弱していた上に何時間も車に揺られたために、4人とも車酔いで席から起き上がることもできなかった。

輸送車の中で私たちは、隙を見て4人で逃げ出そうと思っていた。輸送中、逃げ出す機会はあった。土砂降りの雨の中でトイレに行った時のこと。手錠を外して2人ずつ車外に出たが、公安の人たちは車の中から私たちを見ているだけだった。外の様子がよく見えないほどの激しい雨のため、走り出せばいくらでも逃げ出すことができた。

でもそれは、とても危ない冒険であった。もし私が逃げ出したら後の3人はどうなるのかという不安と、あまりにもひどい車酔いのためうまく体を動かすことができず、どうしても逃げ出すことができなかった。結局、そのまま輸送車に戻ってしまった。

〈中朝国境T市の勾留所に〉

結局、中朝国境の街Tにある国境边防隊の勾留所に入れられてしまい、以前のK市のS看守所とは違う生活が始まった。そこでは一日中、部屋の中でじっとしていなければならなかった。部屋の中

にはカメラが取り付けられていて、中の様子を監視されていたため、何もすることができなかった。

〈北韓に強制送還される〉

ある日、予告もなく私たちの名前が呼び上げられた。男女30人ほどがわずかな所持品を持って外に連れ出され、2人ずつ手錠でつながれてマイクロバスに乗せられた。バスは約10分ほどで中朝国境の橋を渡った。私たちは強制送還されてしまったのだ。中国公安局の人は、私たちを引き渡し、中国側へ帰ってしまった。

残された私たちは、これからどんな仕打ちを受けるのが心配だった。保衛部の指導員がやってきて、各自の名前と住所を記録した後、2人ずつ縄で結ばれ、トラックに乗せられてオンソン保衛部へと輸送された。これからどうなるのだろう、という心配で胸が一杯だったが、無情にもトラックは田舎道を勢いよく走っていった。

〈次号へ続〉

この手紙の内容は金永美〔仮名〕さんから頂いた内容を要約しています。

〈金永美さんのプロフィール〉

在日同胞・東京都出身・40歳代・女性・70年代に渡北・03年に帰国・現在関東在住

脱北者支援センターへの協力に感謝いたします。

在日韓国商工会議所連合会	¥900,032	民団福岡・田川支部	¥20,000	趙文豪	¥10,000
神奈川青商	¥200,000	朴雲子	¥20,000	李松連	¥9,990
民団東京地方本部	¥200,000	本橋利雄	¥20,000	民団岩手県地方本部	¥7,236
民団大阪府地方本部	¥185,971	李震雨	¥20,000	民団兵庫 宝塚支部	¥6,000
民団千葉/市川支部	¥123,760	弘善ヒ	¥20,000	韓玉順	¥5,000
在日大韓基督教会東京協会 金一範	¥100,000	民団香川県地方本部	¥17,090	金漢翊	¥5,000
民団群馬県地方本部	¥100,000	朴栄吉	¥15,000	金孝	¥5,000
崔相英	¥100,000	民団新潟県地方本部	¥14,387	金秋江	¥5,000
広島十和会	¥90,000	民団長崎県地方本部	¥13,340	金兌	¥5,000
民団神奈川県地方本部	¥88,403	民団和歌山県地方本部	¥13,000	高貴洋光	¥5,000
朴東鉉	¥55,000	民団長野県地方本部	¥12,407	高昌植	¥5,000
権東鉉	¥50,000	在日韓国青年会中央本部	¥11,054	徐龍達	¥5,000
大將軍商事⑭	¥50,000	王清一	¥10,000	朴基現	¥5,000
兵庫韓商	¥50,000	外山朝子	¥10,000	柳尚熙	¥5,000
民団北海道地方本部	¥47,390	金甲南	¥10,000	李相福	¥5,000
民団静岡県地方本部	¥43,905	金鍾煥	¥10,000	梁在浩	¥5,000
金二泰	¥40,000	金聖大	¥10,000	崔道夏	¥5,000
民団岡山県地方本部	¥32,042	洪性仁	¥10,000	民団東京・大田支部	¥4,567
高基秀	¥30,000	鋤柄慎吾	¥10,000	黄徹	¥3,000
孫性祖	¥30,000	竹澤三郎	¥10,000	民団滋賀・湖西支部	¥2,000
朴道秉	¥30,000	沈勝義	¥20,000	西沢琴子	¥2,000
李秀夫	¥30,000	鄭鉉權	¥10,000	郭創基	¥1,940
趙忠米	¥30,000	方明宣	¥10,000	佐藤真美	¥1,000
民団愛媛県地方本部	¥29,500	朴甲順	¥10,000	朴政克	¥1,000
韓健三	¥20,000	朴東進	¥10,000	崔昌美	¥430
許奉伊	¥20,000	李海洙	¥10,000		
金秀吉	¥20,000	李順載	¥10,000		
金秀吉	¥20,000	李奉男	¥10,000		
具胤書	¥20,000	鈴木フサ	¥10,000		

(順不同 敬称略)
2004年9月30日までの募金者は、同10月15日付け民団新聞に芳名一覧を掲載させていただきました。

みなさまの支援が脱北者の日本への定着を促進します

天然ザクロエキス 「 POMGRANATE 」



在日韓国商工会議所では、北朝鮮(北朝鮮)を脱出して日本に渡ってきた元在日同胞が日本の地で安定した生活を送ることが出来るようにと、経済的支援を目的に「天然ザクロエキス」の販売を展開することになりました。そして、この活動による売上金の一部を元在日脱北者の支援金に充てさせていただきます。趣旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

1ケース(12本入り) 販売(1本375ml) 36,000円のところ

33,000円(税 送料込)で販売

発売元
(株)マロニエスタッフ

【ザクロエキスの効能】

老化防止、皮膚老化防止、生理痛・生理不順、不感症、脱毛症、記憶力減退防止、性欲低下、骨粗鬆症、視力減退、尿失禁、憂鬱症、更年期障害、体内脂肪減少効果など。

【ザクロエキスの飲み方】

ザクロエキス1に対して4~5倍の水で薄めて飲用します。
焼酎やビールに混ぜて飲用すると二日酔いの緩和になります。

◎ご注文方法

在日韓国商工会議所にて注文を承ります。代引でのお届けとなりますので、配達時に代金をお支払い下さい。在日韓国商工会議所 03(3456)1190

■「POMGRANATE」の主成分■

原 料:100%天然濃縮ザクロ果汁(濃縮5:1)
栄養分:40カロリー、脂肪 0g、炭水化物 10g、糖分 6g、蛋白質 0g、ビタミンA 1g、
ビタミンC 0g、カルシウム 1%、鉄分 1% 保存料:なし 原産国:アメリカ

女性をより美しく

〒106-8585 東京都港区南麻布1-7-32 韓国中央会館6階 電話・FAX : 03-3454-5811

郵便振替口座番号 00150-5-546257 「脱北者支援センター」口座